

## 素直な心

島根県 龍雲寺 住職 野原眞承

先日、小学生が「坐禅体験」をするためにお寺にやって来ました。今回は二年生、三年生が中心で、先生やボランティアの皆さんと一緒に挑戦しました。子ども達は「坐禅体験」に興味津々、大はしゃぎです。先生たちに「静かに」と注意された子ども達は、最初は緊張した表情でしたが、お作法どおりご本尊様に丁寧にお焼香をして、合掌礼拝。そして静かに坐禅を行いました。

坐禅が終り、今度は一人ずつ「平和の鐘」という大きな梵鐘を鳴らすことになりました。「和尚さん、どうやって鐘を鳴らすの?」という質問がありましたので、私は実際に鐘をつきながら見てもらうことにしました。「世界が平和でありますように!」と、元気よく大きな声でお祈りし、力強くゴーンと鐘を鳴らしました。すると子ども達から「オオーツ!」と歓声があがり、大興奮です。

そして私が、小学生に「では願いを込めて元気いっぱい鐘を鳴らして下さい。わかりましたか?」というと、子供たちは「はいっ!」と元気に返事をして嬉しそうに鐘の前に並びました。そして、なんと四十六人全員が次々に大きな声で「世界が平和でありますように」と、心の底に響くような大きな声で世界平和をお祈りして、力強く平和の鐘を響かせてくれました。

そしてその後、ボランティアで一緒にくださった大人の方が、恥ずかしそうに小さな声で「世界が平和で…」と言った瞬間、子供達から「声が小さいけ、もっと大きな声で…」と、ダメ出しが出ました。慌ててその方が大きな声で「世界が平和でありますように…」と唱えて鐘を鳴らすと、子供達も大喜び。結局次に続く先生方も、最後の一人まで、みんな大きな声でお唱えされ、鐘を鳴らす姿をみんなで見守りながら、いつの間にか大人も子供も、鐘を囲んで不思議な一体感が生まれました。

その穏やかな光景を見ながら、私はいつからか、世間体や、他人の評価や、意見を気にするあまり、自分自身や家族、友人の幸せを、ただ素直に純粋に祈る思いや、言葉さえ、知らず知らずのうちに否定してしまっている自分自身の危うさを、子ども達の素直な心に教えて頂いたような気がしました。ただひたすらに祈る心は、誰の迷惑にもならず、みんなの光になるのです。

今朝は童心に帰って、心の中で力いっぱい「世界が平和でありますように」と、心の鐘を響かせて祈る一日を過ごしてみませんか。

(令和二年二月放送)